

平成 29 年度 鳴門教育大学 地域連携センター活動報告

1. 概要

所在地：〒 772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地

TEL 088-687-6101 FAX 687-6100

WEB <http://www.naruto-u.ac.jp/center/ccc/>

2. 教員名簿

所長 阪根健二 教授（高度学校教育実践専攻）

所員 藤原伸彦 准教授（高度学校教育実践専攻）

竹口幸志 講師（大学連携 e-Learning 教育支援センター四国鳴門教育大学分室）

泰山 裕 講師（高度学校教育実践専攻）

長江徹子 国内客員研究員（徳島県立総合教育センター教職員研修課指導主事）

森 篤之 国内客員研究員（徳島県立総合教育センター教職員研修課指導主事）

北島孝昭 国内客員研究員（元北島町教育長）

事務担当 社会連携課

3. 活動報告

本センターは、他の大学における教育実践センター組織とは異なり、教育臨床部門、実地教育部門は、学内の他の専門センターで対応しており、現在設置の2分野は、生涯学習センター的な要素を持ちつつ、学校教育への支援を行うといった特徴を有している。なお、地域連携の要である「公開講座・フォーラム」等は、本学では地域連携委員会（全学組織）で運営しているが、本センター業務の一環として、その連絡調整等を担当している。事務関係では、公開講座、教育支援講師派遣、教育相談対応、免許更新講習など多方面での担当を、事務担当係で運営している。

平成26年度から、四国5大学連携防災・減災研究教育協議会の一員として、防災教育担当（教育連携コーディネータ分野）を新設し、香川大学と徳島大学との間で遠隔授業を実施している。また、平成27年度からは、家庭学習の調査研究、及び「サテライト研修室（つながルーム）」の設置のため、徳島県教育委員会から研究員（現職教員、指導主事）を受け入れ、学力向上対策、県内教員研修のネットワーク化について、研究活動を行っている。平成28年度から、徳島県教育文化研究所との共同研究を開始し、授業向上力研修を、遠隔講義システムを活用して実施している。

4. 研究活動報告

(1) 教育連携コーディネータ分野

ア. 地域連携委員会との連携（事業の企画、渉外）

第43回鳴門教育大学教育・文化フォーラム（平成29年8月8日 本学講堂）を実施した。テーマは「いじめ問題を考える」であり、遠隔講義システムを活用して、サテライト会場（美馬市、阿南市）にも配信した。参加者は現職教員及び一般市民約400名であった。

イ. 学校・地域連携

(ア) 教育委員会等行政機関や諸団体と連携し、学校現場における今日的な課題の解決のため、各種の調査研究を行い、成果を公表した。特に、家庭学習については、徳島県教育委員会及び阿南市及び美馬市教育委員会との連携によって、大きな成果があった。

(イ) 香川県東かがわ市土曜授業運営事業に参画した。東かがわ市立白鳥小学校で、自習支援・スポーツ支援、ブ

ロック遊び支援を行った。(平成29年5月から平成30年2月までの6回：参加学生のべ300名)

- (ウ) おもちゃ王国との産学共同研究として、外部資金を獲得するとともに、岡山県玉野市おもちゃ王国での現地実習を行った。(平成29年12月：参加学生20名参加) また、研究成果を元に、ブロック教材を開発し、商品化している。
- (エ) 徳島県知事部局との連携として、防災実習を行った。(平成29年12月：学生80名)
- (オ) 鳴門市教育委員会との連絡調整を図り、校区及び学区の適正化、いじめ問題などの審議会に協力した。
- (カ) センター広報誌「あわ教育ネットワーク通信」第26号を発行した。(平成30年3月)
- (キ) 社団法人「教育支援人材認証協会」における教育支援人材育成業務として、パートナー講座、サポーター講座の実施と認証業務の支援を行った。
- (ク) 四国5大学連携防災・減災研究教育協議会の一員として、運営会議に参加すると共に、香川大学と徳島大学との間で、四国防災危機管理特別プログラムの遠隔授業科目を遠隔講義システムにより試行的に開講した。(火曜日5校時)
- (ケ) サテライト機材を、本学及び阿南市、美馬市に設置し、教職員研修活動を支援した。
- (コ) 徳島県教育文化研究所との共同研究で、県内で卓越した教員の模擬授業を実施し、遠隔講義システムで県内に配信した。なお、成果報告をリーフレット冊子としてまとめた。

(2) 教育情報コミュニケーション分野

ア. 学校・地域における ICT を活用した実践の支援

- (ア) 本分野は ICT の活用に関する鳴門市との連携の窓口となっており、鳴門市教育の情報化推進協議会のメンバーとして以下の支援を行った。具体的には、鳴門市教育委員会教育支援室および鳴門市小学校と連携し、鳴門市幼稚園・小学校・中学校における ICT の活用の支援や助言を行った。
 - ・電子黒板とデジタル教科書の効果的な活用方法について検討する。
 - ・タブレットやプロジェクタ、電子黒板等が活用しやすい環境(ラーニングコモンズ)における学びのあり方についての研究を行う。
- (イ) 教育の今日的課題である思考力について、小学校・中学校の授業における実践を基に調査研究を行った。

イ. 学校・地域連携

- (ア) 鳴門市と連携して、子ども向け美術鑑賞ワークショップ「N*CAP」の企画・推進を行った。
- (イ) 県内の小学校教諭や、学生、一般ボランティアとの協同により、「鳴門教育大学 教育と学校を考える会 子ども歩き遍路」を企画、実施した。

5. その他の活動

ア. 学校教育研究紀要の発行

従来の継続事業として、学校教育研究紀要第32号を発行した。(平成30年2月)

イ. 地域連携委員会との連携事業

- (ア) 公開講座、なるっ子わくわく教室(大学開放推進事業)
- (イ) 教育支援講師・アドバイザー等派遣事業
- (ウ) 客員研究員の研究支援

6. 外部資金導入状況

- ・おもちゃ王国との産学共同研究(代表者 阪根健二：1,000,000円)
 - ・徳島県教育文化研究所との共同研究(代表者 阪根健二：200,000円)
- その他、科学研究費補助金獲得